

真空管による初期のコンピュータ ENIAC(1946年)

ENIAC (Electronic Numerical Integrator and Computer、「電子式数値積分・計算機」)は、1946年に真空管2万個近くを使ってアメリカで開発された最初期の電子計算機(プログラムは人が配線をすることにより行われた)。

かつては世界初のコンピュータとされていたが、1939年に試作機が完成、稼働した「アタナソフ&ベリー・コンピュータ」を世界最初のコンピュータとする考え方が今では主流である。

